

# 支援者のつながりの

# 重要性などを伝える

## 震度6強の大地震

### すぐに情報収集を

7月26日、宮城県北部で震度6強の地震があったということを知り、とてもおどろきました。

国内では震度6強を記録したのは、鳥取県西部地震以来のこと、とても他人ごとではありませんでした。すぐに日野ボランティアネットワークのメンバーたちと連絡を取り合い情報収集を始めました。

## 自分たちでしか

### 伝えられないことが

現地の状況を知り「震災を経験した自分たちでしか伝えられないことがあるのではないか」と現地支援を検討。同ネットワークの渡辺大吉さん（米子市）、山垣浩功さん（米

子市）、森本智喜さん（倉吉市）とともにボランティアを受け入れている宮城県南郷町に出かけることにしました。

## 日野ボランティア

### センターから派遣

日野ボランティアセンターの支援を受けて派遣という形で、8月4日、日野町役場前にメンバー4人が集合。多くの方々からの活動支援を受け、役場から支援物資を預かり、車で出発しました。

宮城県に入ったのは翌日の昼で、矢本町の被害状況を見ながら南郷町に入りました。

## 地震後1週間

### 屋根にはシートが

南郷町は、地震発生から1週間経過していたため、多く

7月26日、宮城県北部で発生した宮城県北部連続地震の震災復興支援に日野町のボランティア団体「日野ボランティアネットワーク」のメンバー4人が、8月4日から約10日間、被災地である宮城県南郷町で支援活動を行い、8月19日、老人福祉センターで活動報告会を開きました。

同ネットワークの山下弘彦さん（根雨）に現地での様子や活動内容を聞きました。



活動報告する渡辺さんと山下さん（右）



宮城県南郷町での復興支援活動や現地の様子を報告をする山下弘彦さん